

6月13日、箱清水公民館ホールで開催した第25回月定期講演会において、講師が作成し、当日、講演に用いました資料からごく一部の事柄を抜粋して掲載します。

演題 『比爪』 『樋爪』 の表記について

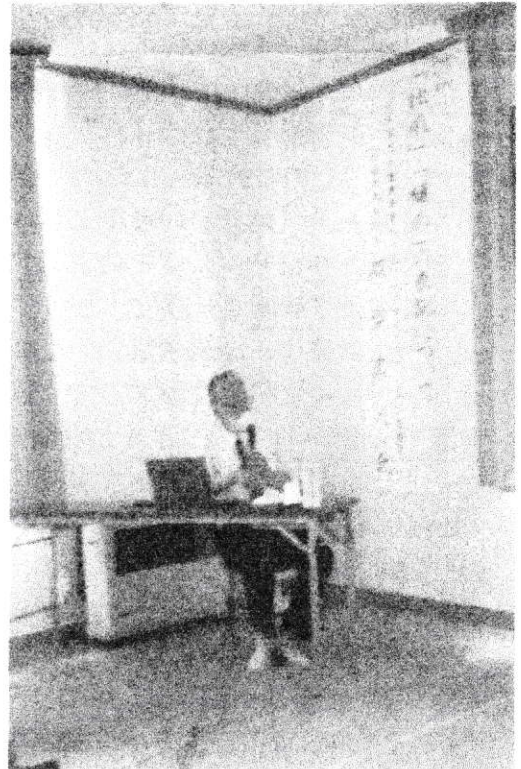
講師 羽柴直人氏 公益財団法人 岩手県文化振興事業団
平泉の文化遺産ガイダンス施設準備室
主任専門学芸員

遺跡名「比爪館」と「樋爪館」(文中略あり)

「ひづめだて」は、昭和50年3月25日に紫波町指定文化財(史跡)に指定されている。その登録名は「樋爪館跡」である。この紫波町指定文化財「樋爪館跡」は現在でもそのままである。一方、埋蔵文化財包蔵地としての「比爪館跡」は昭和40年に紫波町教育委員会が主体として第一次の発掘発掘調査が行われ、以来遺跡の名称は「比爪館跡」である。

このように紫波町指定文化財「樋爪館跡」と埋蔵文化財包蔵地「比爪館跡」が並立しており、行政の管轄する文化財として二つの表記が存在するのである。強調したいのは、遺跡名「比爪館跡」は「樋爪館」より先行する名称である。

岩手県の場合、登録遺跡名は、市町村と県の担当部署で調整し共有している行政的固有名詞であり、恣意によって変更できるものではない。なにより確たる根拠もなく「樋爪館」の表記を使用することは、30数次に及ぶ「比爪館」の発掘調査成果を否定することになりかねない。



羽柴直人氏の講演の様子(6月13日箱清水公民館)

赤石小6年生 郷土の歴史を学ぶ 樋爪館懇話会案内人部会が対応



樋爪館懇話会の案内人と赤石小6年生(6月3日高水寺城跡)

赤石小学校6年生64人は、社会科見学一環として現地学習が行われた。6月3日には平安時代から鎌倉時代の紫波町の歴史についてを学ぶため、高水寺城跡と陣ヶ岡史跡を二組に分かれて見学した。

また、17日には7月2日に行われる平泉への修学旅行に備えた事前学習として、奥州藤原氏の系図、樋爪館及び五郎沼とその周辺の石碑や古代ハスの由来などについて、4班に分かれて現地を巡りながら学んだ。

2回による郷土の歴史現地学習においては、樋爪館懇話会案内人部会の会員が分担して説明をした。児童らは熱心に耳を傾けメモを取るなどして理解を深めていた。

5月19日に開催した第120回月例発表会において、発表会員が用いました資料からほんの一部の文面・図・写真を抜粋して掲載いたします。なお、今回の発表者は一人のみでした。

阿部朋巳氏の発表資料「金色堂の話2 <棟木・墨書銘>」から

「はじめに」 前回から金色堂の話連続して発表しており、前回は「建物構造」の題で、

今回は、金色堂の棟木とそれに墨書された銘についてお話しいたします。

金色堂の棟木・墨書銘と解説文

「棟木」

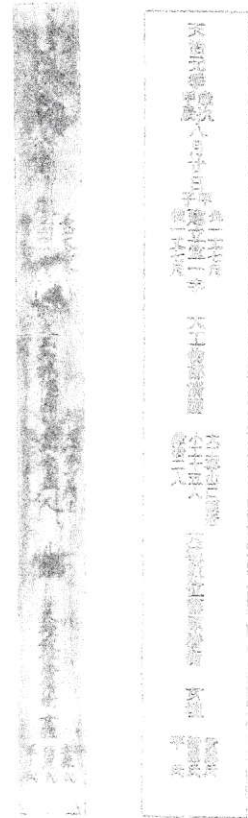
- ・ 明治30年、金色堂の屋根部分を解体したときに、内屋根の大棟木材下面から墨書が発見されました。これには、建立年月日、大工名、大檀那藤原清衡、女檀3人などが記載されていました。
- ・ 棟木自体の長さを表示した文献に接していないため、入手できる写真及びデータから算出することにしました。
- ・ 棟木の寸法は、長さ約184cm、巾約13cm、厚さ不明となります。

「墨書の主な内容」

- ・ 天治元季八月廿日：これは、棟上げの日です。1124年8月20日であり、新暦換算すれば9月29日となります。
- ・ 建立一字：この日行われたのは、上棟式であり、完成後の落慶式ではありません。「建立」の表現なされていますが、この日に完成ということではありません。全て終了して落慶式がいつ行われたか不明です。
- ・ 大檀散位藤原清衡：「散位」とは、位だけあって官職のない者のこと。藤原清衡の位は、金色堂建立から2年後の大治3（1126）年3月24日付け中尊寺建立願文では「正六位上」と記載されている。
- ・ 女檀 安部氏・清原氏・平氏：女檀3人は、右に安部氏、中央に清原氏、左に平氏が並記されております。

金色堂の棟木墨書銘を分析・検討したことにより、女檀3人の思いが金色堂建立のきっかけになるなど大きな影響を及ぼしたと考えられます。

金色堂は、最初、清原氏（清衡の祖母又は清原武貞の姉）や安部氏（清原の母又は伯叔母）が身内や身近な戦死者の菩提を弔うために、小さなお堂の建立を清衡に頼んだところから始まり、お堂の構想段階ないし設計段階で正妻（平氏）が装飾を豪華絢爛にするようなアイデアを出し、清衡がそれを了解の上、家臣に命じて建築が始まったものと考えられます。



《《《7～8月 行事予定のお知らせ》》》

<p>7月21日 (水曜日)</p>	<p>第121回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 発表者：阿部朋巳 テーマ「金色堂の話3」 発表者：浅沼幸男 テーマ「藤原泰衡の首洗い清水の痕跡」</p>
<p>8月18日 (水曜日)</p>	<p>第122回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 発表者：宮良男 テーマ「日本の仏教13」 発表者：平井和夫 テーマ「三陸沿岸地域の製鉄遺跡について」</p>